# 第3章. 種類と用途

### 3.1 設 置

ガス栓は、使用場所及び目的に適合した製品を選定すると共に適合性検査合格証票が貼付されたも のを設置してください。



適合性検査合格証

### 3.2 法令の遵守

- ① ホースガス栓は、渦流出安全機構を内蔵するヒューズガス栓を使用してください。平成9年 4月1日より全ての施設において義務付けとなりました。[液石法施行規則(附則)「平成9 年 3 月 10 日 省 令 11 号
- ② 平成12年10月1日に液化石油ガス器具省令が改正され、ガス栓は第1種液化石油ガス器具 (国家検定品) から特定液化石油ガス器具(適合性検査品)に変更されました。
- ③ 国家検定品の合格証票が貼付されている製品は、液石法施行令第5条「整理合理化法」の規 定により、平成 17 年 10 月 1 日以降は販売することができません。(1.2.2 国家検定 参照)
- ④ 適合性検査に合格した製品には『PS LPG 合格マーク』が貼付されています。なお、検査は(財) 日本エルピーガス機器検査協会で実施しております。
- ⑤ 末端ガス栓(ホースガス栓・可とう管ガス栓・機器接続ガス栓)と燃焼器具との接続方法は、 次ページの表に従ってください。「液石法の供給設備、消費設備及び特定供給設備に関する技 術基準の細目を定める告示 第123号|

表 燃焼器と末端ガス栓との接続関係

衣 ;	燃焼器の種類	ガス栓の種類	接続具	接続具の接続	
固定式燃焼器	湯沸器(元止式) 風呂釜	<u>可とう管ガス栓</u>		ねじ接続	
	給 湯 器 (元止式湯沸器を除く) 調理器 (業務用)	可とう管ガス栓	燃焼器用ホース <u>金属フレキシブルホース</u> <u>金属フレキシブルホース</u>	ねじ接続	
	ビルトインコンロ		燃焼器に直接ねじ接続		
	G H P	可とう管ガス栓	燃焼器用ホース	ねじ接続	
移動式燃焼器	ガスコンロ ガスストーブ	<u>ヒューズガス栓</u>	ガスコード(両端迅速継手付燃焼器用ホース)	コンセント 接続	
	<u>ガスストーブ</u> <u>*1</u> <u>ガス次</u> 飯器	<u>ヒューズガス栓</u>	オレンジゴム管 *-スパンド *-スパンド	ホースエンド 接続	

\*1 平成9年5月1日以降製造された暖房器は、コンセント接続のみとなっています。

\*2 JISS 2120「ガス栓」による。液石法器具省令・技術上の基準では、「可とう管ガス栓」に含まれています。

#### 3.3 燃焼器具と未接続の末端ガス栓

「液石法規則 第44条1号 ヲ ただし書き」の燃焼器と接続されないで設置されている末端ガス栓の設置方法は、次に掲げるとおりとする。

- ① ホースガス栓は安全機構を内蔵されていること。
- ② 可とう管ガス栓、機器接続ガス栓の場合は、出口側に、金属製の止め栓を施すこと。

### 3.4 ガス栓の設置上の注意

① ガス栓は適合性検査に合格し、合格証券が貼付されているものを用いなければなりません。



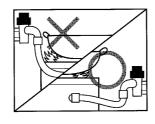
適合性検査合格証

- ② ガス栓の選定にあっては、使用箇所、使用燃焼器具、最大ガス消費量による圧力降下等を考慮してください。
- ③ 消費者の生活様式や暮らしに不便をきたすことのないよう配慮することが必要です。
- ④ ゴム管を長くして燃焼器具と接続することは、安全上避けてください。
- ⑤ 消費者が快適で安全な生活をする為、いつでもガス器具を接続して使用できる様、多栓化を推進していくことが重要です。

注	音	事	百	
(T	- E	-	<b>→</b> □	

### 備 考

- 1. 末端ガス栓:燃焼器具の近傍に設置するガス栓の総称 (ヒューズガス栓・可とう管ガス栓・機器接続ガス栓)
  - ① ガス栓は、分解・改造をしないでください。
  - ② 設置及び点検・調査をしやすく操作が容易で保安上支障の無い場所に取り付けてください。
  - ③ 接続管の長さは出来る限り短くなるようにガス栓の位置 を選定してください。
  - ④ ガス栓に曲げ・ねじ込み等無理な力が加わらないようにしてください。
  - ⑤ 火焔や輻射熱を受ける恐れのある場所や火気に近い場所には設置しないでください。



⑥ 冠水する場所、湿度の高い場所及び腐食性雰囲気の有毒ガス (アンモニア・亜硫酸ガス等) がある場所又はその恐れのある場所には設置しないでください。



⑦ 調理器具等が接触しない位置を選んで設置してください。

- ① ガス漏れの原因となります。
- ② 日常及び法定の点検・調査時に漏えい等の確認をするため。
- ③ 圧力損失を抑えるため。
- ④ 栓部が変形してガス漏れが発生する原因となります。
- ⑤ 熱により機能が損なわれ操作 性が悪くなりガス漏れの原因 となります。

⑥ 湿気や腐食性雰囲気等により、 腐食が促進されガス漏れの原 因となります。

⑦ ガス栓の機能に支障をきたす 可能性があります。

## 注意事項

備 考

⑦ 煮こぼれ、落下物等により汚れ、損傷を受ける恐れのある場所には設置しないでください。

⑦ガス漏れの原因となります。



⑧ 高齢者等にも使用しやすい場所に設置してください。





⑧ 接続管の脱着矢開閉操作をし やすくするため。

- ⑨ ヒューズガス栓の取付姿勢は、各メーカーの取扱説明書に従って正しく設置してください。
- ⑩ ガス栓並びに配管部材の出入口部にゴミ、切削油等が付着している場合は、十分にふき取ってください。
- ① ねじ接続する場合はシールテープの使用は避け、耐 LP ガス性の不乾性剤・半乾性剤を使用してください。
- ② 取付については、適正な工具を用い適切な方法により 過剰な締め付けにならないようねじ込んでください。
- ③ ガスの流れ方向を指定されているガス栓は、入口側と 出口側とを間違えないように取り付けてください。
- ④ 未使用のガス栓を設置する場合は、ヒューズガス栓にはゴムキャップ等、出口側がねじの場合は金属製の止め栓を必ず施してください。
- ⑤ 末端ガス栓の代替としてねじガス栓の使用はしないでください。

- ⑨ ヒューズ機構を正常に作動させるため。
- ⑩ ガス栓の機能不良の原因となります。
- ① ガス栓の機能不良の原因となります。
- ② ねじ込み過ぎによる割れの原因となります。
- ③ ガス漏れ等、機能を損なう恐れ があります。
- ④ 誤開放によるガス漏れ防止の ため。
- ⑤ 末端ガス栓の方が耐久性能に 優れているため。

# 2. ねじガス栓:配管の途中、分岐箇所・ガスメータの入口、調整 器の出口付近等に設置するガス栓の総称

- ① ガス栓は、分解・改造はしないでください。
- ② 設置及び点検・調査はしやすく、操作が容易で保安上支障の無い場所に取り付けてください。
- ③ 配管の新設工事、修理及び改善等による気密試験並びに漏えい試験等の検査時の為、ねじガス栓を設置してください。
- ④ 配管の分岐箇所には必ず、修理・改善等及び気密試験・漏 えい検査の時の為にねじガス栓を設置してください。
- ⑤ ガスメータの入口側、圧力調整器の出口側に機器取替交換 時に事故防止のため、ねじガス栓を設置してください。
- ⑥ 長期不在、または、季節によって使用されない場合にも事 故防止のためにねじガス栓を設置してください。
- ⑦ ガス栓は過大なねじ込み応力や曲げ等の無理な応力が加わらないように設置してください。
- ⑧ ガス栓並びに配管部材の出入口部にゴミ、切削油等が付着している場合は、清掃して設置してください。
- ⑨ ねじ接続する場合はシールテープの使用は避け、耐 LP ガス性の不乾性剤・半乾性剤を使用してください。
- ⑩ 取付については、適切な工具を用い、過剰な締め付けにならないようにねじ込んでください。



- ① ガスの流れ方向を矢印等で指定されているガス栓は、入口側と出口側を間違えないように取り付けてください。
- ② ねじガス栓の代替として末端ガス栓の使用はしないでください。

- ① ガス漏れの原因となります。
- ② 日常及び法定の点検・調 査時に漏えい等の確認 をするため。
- ③検査孔付ねじガス栓を設置すると点検がやり易くなります。
- ④ ガス放出防止のため。
- ⑤ 機器の交換を安全に行うため。
- ⑥ いたずら防止対策として 封印を施こすため。
- ⑦ 変形してガス漏れが発生 する原因となります。
- ⑧ 接続部からガス漏れの原因となります。
- ⑨ シールテープを使用する と一度ねじ込んだもの を締め戻す際、ガス漏れ を起こす可能性があり ます。
- ⑩ ねじ部破損防止のため。

- ① ガス漏れ等、機能を損な う恐れがあります。
- ② ガス通路の口径が小さい ため、圧力損失が大きく なります。

# 3.5 ガス栓の種類と選定

ガス栓は出口の接続方法で分類すると「ねじ接続のもの」と「ねじ以外の接続のもの」に分かれ用途で分類すると「中間ガス栓として使用するもの」と「末端ガス栓として使用されるもの」に大別される。中間ガス栓及び末端ガス栓は適合性検査合格証票が貼付されたものを選定することが必要です。

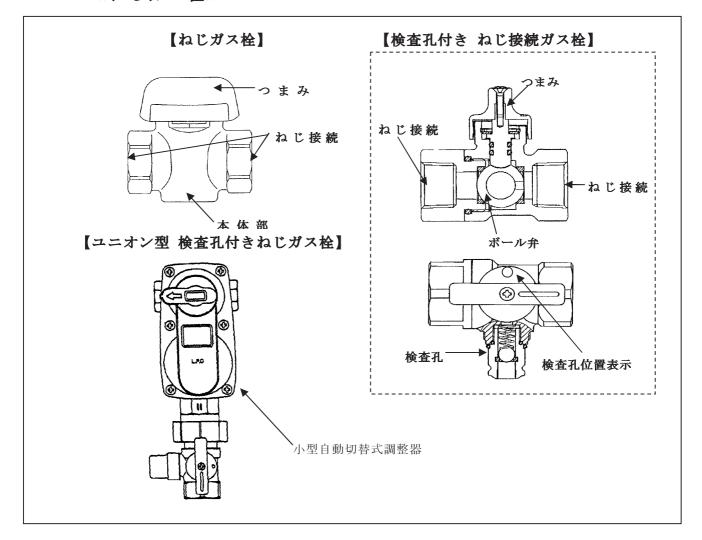
表 ガス栓の種類と特徴

11	表の方程の種類と特徴						
	ガス栓の種類	LP ガス 通過流量	呼び	特徴			
ねじガス栓	<ul> <li>≪種類≫</li> <li>◎ ねじガス栓</li> <li>◎ 検査孔付きねじガス栓</li> <li>◎ ユニオン付きねじガス栓</li> <li>◎ ドレン抜きねじガス栓</li> <li>(1/2:86kw(6.2kg/h))</li> <li>(3/4:92kw(6.6kg·h))</li> </ul>	126kW (9.0kg/h) 211kW (15.0kg/h) 274kW (19.5kg/h)	1/2 (15A) 3/4 (20A) 1 (25A)	・ねじガス栓は「中間ガス栓」、「メータガス栓」とも呼ばれ、主に、LP ガス配管の中間に使用されます。 ・ユニオン付きねじガス栓は、自動切替調整器の出口に取り付ける事ができるタイプです。 ・メータガス栓はガスメータの入口側に取り付け、長期不在、消費設備側の修理・			
		443kW (31.5kg/h) 611kW (43.5kg/h) 992kW (70.5kg/h)	11/4 (32A) 11/2 (40A) 2 (50A)	改善、法定調査時等にガスを閉止するために設置されます。 ・検査孔付きねじガス栓は、圧力調整器の調整圧力・閉塞圧力の検知、配管の気密試験・漏えい検査、エアーパージ等に使用することができます。			
				・ドレン抜きねじガス栓は、調整器又は配管下端部に取り付けてドレンを抜く時に使用するタイプです。			
可とう管ガス栓	≪種類≫ ◎ 可とう管ガス栓 ◎ 検査孔付き可とう管ガス栓	42kW (3.0kg/h) 84kW (6.0kg/h)	1/2 (15A) 3/4 (20A)	<ul> <li>・末端ガス栓で、燃焼器具の近傍に設置するガス栓です。</li> <li>・末端ガス栓で、不用意に開放されないため、"ロック機構"を有しています。</li> <li>・検査孔付き可とう管ガス栓は、つまみの操作により、ガス栓と燃焼器具間の漏れ検査やエアーパージあるいは、燃焼器具入口における供給圧力測定ができるタイプです。</li> <li>・可とう管ガス栓を使うべき箇所にねられると、耐久性があります。</li> <li>・可とう管ガス栓を使うべき箇所にねるため、ガス漏れに繋がるあれがあります。また、ねじガス栓を使うべき箇所にによりでガス栓が使われると、流量不足により圧力損失が高くなる恐れがあります。</li> </ul>			
機器接続ガス栓	≪種類≫ ◎機器接続ガス栓 ◎検査孔付き機器接続ガス栓	42kW (3.0kg/h) 84kW (6.0kg/h)	1/2 (15A) 3/4 (20A)	<ul> <li>・末端ガス栓で、ねじにより燃焼器具に直接接続されるガス栓です。</li> <li>・末端ガス栓であるため、不用意に開放されないため、"ロック機構"を有しています。</li> <li>・出口側は燃焼器具のガス接続口と直接接続できるタイプです。</li> </ul>			

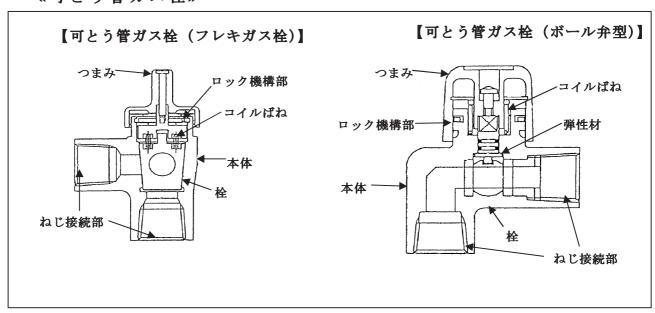
ホースガス栓	<ul> <li>≪種類≫</li> <li>⑥ ヒューズガス栓</li> <li>(つまみ等 有)</li> <li>⑥ ガスコンセント</li> <li>(つまみ等 無)</li> <li>(出口側コンセント型)</li> <li>(ガスコンセント型)</li> </ul>	10kW (0.7kg/h) 又は 15kW (1.1kg/h)	ホースエンドコント	・末端ガス栓で、迅速継手等を用いて、燃焼器具に接続するガス栓です。 ・出口形状は、ホースエンドタイプとコンセントタイプがあります。 ・末端ガス栓で、不用意に開放されたい為、"ロック機構"を有しています。 ・LPガスが大量に流れるとヒューズ機構(過流出安全機構)が作動してガスを遮断するガス栓です。 ・以下のいずれか1つでも該当すればヒューズガス栓です。 ①
ス	(ガスコンセント型)	2 412	コンセント	ーズガス栓です。 ① むマーク (過流出安全機構付の略号) が表示されている。 ② 適用器具 (消費量) の上限を示す表示がある。(例 15kW)

### 3.6 ガス栓の構造

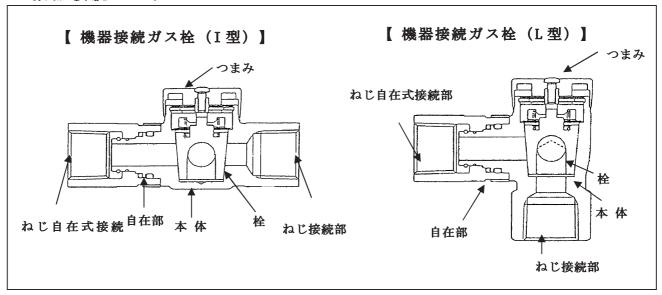
# ≪ねじガス栓≫



# ≪可とう管ガス栓≫



# ≪機器接続ガス栓≫



≪ホースガス栓(ヒューズガス栓)≫

